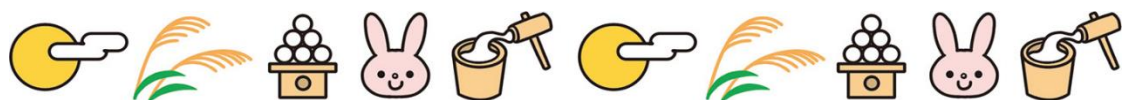




病後児保育だより

令和5年9月5日

まだまだ残暑が厳しいですが、朝夕の風には秋の気配が感じられるようになりましたね。一日の中の気温差が大きくなり、体調を崩しやすい時期でもあります。体調の変化に気をつけながら、元気に過ごしていきましょう。



保育室の様子

その子の状態に合わせて、ゆったりと過ごせるようにしています。初めての場所に、入室時は不安そうにしている子ども、好きな遊びを見つけて過ごさせていますよ。



利用状況

- ◆7月…4名
- ◆8月…1名
- 口唇裂傷、上気道炎、気管支炎などでの利用でした。

利用した方の感想を紹介します

★利用したきっかけは

- ・仕事が休めず、祖父母も遠方にいるため。
- ・咳が出ていて、安静にすれば回復も早いかなと思い利用した。
- ・他の子にうつす心配がないため。

★利用してみてどうだったか

- ・ゆっくり、自分のペースで過ごすことができたようでよかったです。安心して楽しく過ごせたようです。
- ・先生方からやさしく受け入れてもらいよかったです。
- ・一日の様子を連絡帳に書いていただき、どんな様子だったのかわかり、ありがたかったです。
- ・明るく清潔でゆったりとした環境の中で、おもしろいおもちゃもたくさんあり、子どもも楽しく安静に過ごせた。
- ・一日の様子をこまかく伝えてもらえて安心した。



病後児保育はどんなときに利用できるの？

- ① 風邪や胃腸炎においては、急性期(発熱・下痢・嘔吐)を経過したあと
※38度以上の熱・下痢・嘔吐のいずれかの症状があるときは利用できません。
- ② 水痘や風疹・インフルエンザなどの感染症疾患においては、他の児童に感染するおそれのある感染期を経過したあと
- ③ 喘息などの慢性疾患においては、発作が治まったあと
- ④ 骨折や火傷などの外傷性疾患

※どの症状においても、医師による診断(連絡票)が必要となります。



- ★熱(38度以上)は下がったけれど、微熱がある…
- ★熱はないけれど、まだ咳や鼻水が出る…
- ★嘔吐や下痢はおさまったけれど、まだ本調子ではない…

などの状態で、集団での活動をするに不安や心配がある時に、お子さんの状態に合わせてゆったりとした保育をおこなうことができます。

ウイルス、どうやってうつる？

風邪のウイルスは、感染している人のせきやくしゃみ、会話の際のしぶき(飛沫)と共に飛び散ります。また、唾液や鼻水の中にも多く存在しています。ウイルスを含むしぶきを吸い込んだり、ウイルスのついた手を介して目や鼻、口からウイルスが体内に入ったりすることで感染します。



1 ウイルスを含むしぶきを吸い込む

せきやくしゃみのしぶきは2mほど飛ぶので、近くの人が吸い込むと感染します。

2 ウイルスがついた手で目や鼻、口を触る

ウイルスが付着したものに手で触れると、ウイルスが手につきまます。ただし、手についただけでは感染しません。

ウイルスのついた手で、目や鼻、口を触るとウイルスが体内に侵入します。

感染!

手を洗ってウイルスを洗い流そう

ウイルスが手についても、洗い流せば感染のリスクが下がります。手を洗うときは、せっけんをしっかりと泡立て、指の間、指先までしっかり洗い、流水でよく流しましょう。